



▲閉会式後、大応援団と共に

生涯青春

連覇ならず

序盤大量リードも

第10回鉄鋼流通団体合同野球大会
準決勝・決勝の最終日が10月20日に行われた。準決勝は入船鋼材様、3年前の再戦となった。
3回には8番前島の2点本塁打で先制。その後も効率的に加点し5回までに9安打、10得点と序盤から大量リードに成功。しかし、入船鋼材様の驚異的な粘りで徐々に追いつかれる展開となり、最終回を5点差で迎えたが3失策と見えない失策が絡み一挙8失点で逆転を許し、大会規定による時間切れで準決勝での敗退が決まった。

敢闘賞
伊藤康介



▲5回 7奪三振 伊藤

TEAM	1	2	3	4	5	計
根津鋼材	0	0	3	5	2	10
入船鋼材様	0	0	1	4	8	13



▲2安打と活躍した佐藤（龍）

総評
昨年に続き、二連覇を目指した根津鋼材野球部だったが自滅する形での準決勝敗退となった。序盤は9安打、10得点と大量リードを奪ったが甘さが露呈、選手起用とシートの変更での配ミスが最終回の大量失点に繋がった。
これまでの野球人生でも初めてとなるトリプルプレーでいきなり3人がアウトになるなど走塁面でもミスが出た。
昨年以上の戦力を整えていながら、十分に使い切れず、準決勝で敗退した。
対する入船鋼材様は二人の投手を継投させ、最大7点差でも最後まで諦めない姿勢が逆転劇となった。一つの勝ちに対する思いの違いが結果になってしまった点も来年に繋げる反省点である。



▲増渕 首位打者獲得

▲草野 打点、本塁打の二冠

生涯青春

首位打者打率8割 増渕

創部8年。大会後の審判講評では根津鋼材が優勝すると思っていたと言われる程に成長した野球部。16年以降は優勝回数2度。主将兼監督を伊藤にバトンタッチ。新たな体制で来年に挑み、優勝旗の奪還を目指す。優勝旗の奪還を直来年も野球部の応援を宜しくお願い致します。

打率

	打数	安打	打率
1位 増渕	10	8	0.800
2位 館石	7	3	0.429
3位 草野	57	24	0.421
4位 林	59	19	0.322
5位 佐藤龍	14	4	0.286

打点

	打点
1位 草野	25
2位 前島	15
3位 林	14
4位 根津	13
5位 小浜	11

本塁打

	本塁打
1位 草野	8
2位 前島	5
3位 林	3
4位 池田	2

投手成績

	投球回	防御率	奪三振	与四死球	自責点
伊藤	67回2/3	3.10	79	23	30
池田	10回0/3	3.50	13	8	5
川田	16回1/3	7.29	10	19	17

チーム成績

試合数	勝ち	負け	得点	失点	打率	本塁打	防御率	失策数
25	19	6	170	86	0.252	26	3.66	26

今年加入の増渕が堂々の首位打者となった。初戦から一番打者として大活躍し10打数8安打と打率8割とヒットを量産した。創部からのこれまでの通算成績を打者、投手共に集計。規定打席は特に設定せず集計結果をランキングに纏めた。